

仕事と子育て

女性が考えるほんとうの女性活躍社会とは

ニューヨークで活躍するインテリアデザイナー、祖母と母と一代に渡る「女性の創業家」として活躍中の経歴者に「仕事と子育て」、「女性活躍社会」について語っていただきます。

ミニ講演と対談

子育てしながら働く女性たちへ



吉田 恵美

SATOMI YOSHIDA

YZDA (Yoshida Design Atrium)
代表・インテリアデザイナー

福岡県出身。1994年米国アイオワ州立大学芸術学部インテリアデザイン科学士課程(首席卒)終了後、米国大手建築会社に勤務。2005年、デザインスタジオYZDA(ワイゼットディーエイ)を創業。米国ニュージャージー州とニューヨーク州に拠点をおいて活動中。各々のライフスタイルに寄り添う飽きのこないデザインを提案する。米国内を中心に著名人らを含める幅広い顧客を持つ。

また、2014年から10年連続『BEST』、『HOZZ』賞を受賞。様々なメディアに出演、講演や執筆など活動領域を広げている。プライベートでは国際結婚の息子の母。

5/25 刊行

ニューヨークのクライアントを魅了する「もう一度会いたい」



書籍出版記念サイン会 同時開催



登壇者



角田 千鶴

CHIZURU TSUNODA

一般社団法人ふくやま社
理事・Diversity Facilitator、
株式会社 山陽管理 代表取締役

広島県福山市出身。岡山県倉敷市のノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高校を卒業後、大学進学のため、横浜へ。大学では建築学科 都市デザインを専攻。2001年マンション デベロッパー会社(東証1部)

母と母が経営を行っていた家業を継ぐ決意を固め、有限会社山陽不動産へ就職。2児の母となり母として経営者として活躍。2014年には福山市初となる若手創業家支援ビルDioPorteを設立。2014年には株式会社山陽管理を設立し、代表取締役へ就任。アパートなどのリノベーションや不動産管理、起業家の交流会、学生に向けた創業機運醸成事業を行う。2019年経済産業省中小企業庁 創業機運醸成賞受賞。2020年



聞き手

難波 博孝

HIROTAKA NAMBA

広島大学 副理事 教授

2023.

6.24 (sat) 13:00~15:00

会場 **iti SETOUCHI** (イチセトウチ) コワーキングスペース **TOVIO** (トビオ)
広島県福山市西町1丁目1-11F

参加費 **1,000円** 託児所付き

【主催】こころもち学習ネットワーク(代表:難波博孝) 【後援】一般社団法人ふくやま社



お申し込みは「予約制」です。

<https://forms.gle/6U3FSzQ5b9NFDypH7>
こちらのQRコードからご予約いただけます。

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。お早めにお申し込みください。



女性が考えるほんとうの女性活躍社会とは



ミニ講演と対談

子育てしながら働く女性たちへ



代表作のひとつ。リビングルーム。



若手起業家のためのリノベーションオフィス『Dioporte 3』（広島県福山市）

吉田 恵美

SATOMI YOSHIDA

YZDA(Yoshida + Zanon Design Atrium)
代表・インテリアデザイナー



角田 千鶴

CHIZURU TSUNODA

一般社団法人 ふくやま社中
理事・Diversity Facilitator、
株式会社 山陽管理 代表取締役社長

クライアントには、大物政治家や経営者の名が。
「ベスト・オブ・ハウス賞」を10年連続受賞。
世界で活躍する住宅のインテリアデザイナー。

1994年米国アイオワ州立大学芸術学部インテリアデザイン科学士課程(首席卒)終了後、米国大手建築会社、NBBJ Architects、GGLO Architecture+Design, IDI and Anshen+Allenに勤務。2005年に、デザインスタジオYZDA|Yoshida+Zanon Design Atrium(ワイゼットディーエイ)を創業。米国ニュージャージー州&ニューヨーク州に拠点をおき活躍中。2018年に東京新宿区サタライトオフィス創立。YZDAのコンセプトは、クラシックモダン。また、シンプルながらも飽きの来ない、そして、それぞれの「ライフスタイル」に合わせて、機能美と使い心地の良さを併せ持った実用的な空間デザインを目指す。さらに、「和と洋の感性」を表現することにこだわりを持つ。こうしたインテリア建築+デザイン以外に、スペースプランニング、インテリア家具、照明、プロダクトデザインなどを幅広く手掛けるトータルデザイナーとしても知られる。この他、スタイリングコーディネーターやアートコンサルタントとしても活躍中。2014年から2020年HOUZZベストオブデザインサービス賞、受賞。2018年から2023年HOUZZベストオブデザイン賞、受賞。10年連続HOUZZ賞を受賞する。

祖母～母と3代に渡る「女性の創業者」として不動産管理・施工、
子育てに業界と両立するキャリア、
イベント・セミナーの企画運営など幅広く活躍。

広島県福山市出身。岡山県倉敷市のノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高校を卒業後、大学進学のため、横浜へ。大学では建築学科 都市デザインを専攻。2001年マンションデベロッパー会社(東証1部上場)へ就職。2004年結婚を機に自身の家業を祖母と母が経営を行っていた家業を継ぐ決意を固め、地元である福山市へUターン。母の反対を受けながらも有限会社山陽不動産へ就職。当時業績が良くなかった会社を立て直し、15年増益増収の会社へと蘇甦らせる。2014年には空きビルを買取り、リノベーションを行い、福山市初となる若手起業家支援ビルDioPorte(シェアオフィス)を作る。現在福山市内に3か所5棟のDioPorte Groupを運営している。2014年には株式会社山陽管理を設立し、代表取締役へ就任。アパートなどのリノベーションや不動産管理、起業家の交流会、学生に向けた創業機運醸成事業を行う。2019年経済産業省中小企業庁 創業機運醸成賞受賞。2020年一般社団法人ふくやま社中設立 理事就任。主に高校生・大学生に向けた起業家教育やキャリア教育の機会を提供し、次世代の活躍を促す活動を行う。2021年より地域リーグ「福山シティFC」トップスポンサーを務める。経営者として仕事の結果を上げるだけでなく、未来を担う学生と地域・企業を繋ぎ、福山市を次世代から選ばれる街になるように日々奮闘中。

アメリカでの仕事や子育てについて

19歳でアメリカに留学した当初は、友人や教授が話す言葉もほとんど聞き取れず、コミュニケーションをとることがどんなに大切なことであるかを感じました。
言葉や文化の壁を乗り越えた会話術は、「相手の話をとことん聞くこと」が最も重要でした。アイオワ州立大学インテリアデザイン専攻を卒業し、2005年に独立してから今に至るまで、「とことん聞く」ことで、デザインにシビアなクライアントからの信頼を得るために育んできた仕事術。留学、就職、結婚、出産、子育て、そしてアメリカから起業家へと。全てが初めての経験、そして異文化で築いた独自のライフストーリー。無我夢中で生きてきた日々の中で、得た自分らしい生き方。妻として、母として、そして一人のデザイナーとしてのライフストーリーの旅路は今もなお続いています。

子育ても仕事も出来る環境を自分で作る

周りからみたら「そんなに色々して大変!大丈夫?」なんて言われるようなことも、女性って実は同時に色々なことが出来ちゃうんですよ。主婦業も子育ても仕事も全てを自分で出来る環境を自分で作る。ただ周りの人に迷惑をかけてはいけないので家族に向けて、まずはしっかり説得する事が自分のビジネスの最優先事項。感情的にならず、自分に何が足りないのか冷静に判断し、再度プレゼンの準備をしようと思えたらもう既に1歩を踏み出している証拠です。少しずつ前進して見えてくるもの命でも逆方向には戻れません。自身の人生楽しみましょう!